

立川市旧清掃工場解体 事業説明会

令和5年7月28日（金）午後7時～8時

令和5年7月30日（日）午前10時～11時

旧若葉小学校体育館

P1

説明会次第

- ・ 開会
- ・ 挨拶
- ・ 出席者紹介
- ・ 旧清掃工場解体に関する事業説明
- ・ 質疑応答
- ・ 閉会

P2

旧清掃工場解体に関する事業説明

- | | |
|------------|-------------|
| 1 旧清掃工場の歴史 | 8 仮設工法 |
| 2 清掃工場の移転 | 9 煙突解体 |
| 3 解体工事の概要 | 10 周辺環境対策 |
| 4 事業スケジュール | 11 環境モニタリング |
| 5 敷地平面図 | 12 家屋調査 |
| 6 土壌汚染調査 | 13 今年度の予定 |
| 7 施工平面図 | |

P3

1 旧清掃工場の歴史

- ◆ 昭和27年9月 現・若葉町に塵芥焼却場（15 t /日）が完成
- ◆ 昭和43年7月 塵芥焼却場新型焼却炉が完成（80 t /日×2基）
- ◆ 昭和54年10月 1・2号炉（90 t /日×2基）が完成
（名称を「清掃工場」とする）
- ◆ 平成4～6年 3号炉の増設にあたり、周辺自治会と協定締結
- ◆ 平成9年4月 3号炉の増設及びグリーンセンター設置
- ◆ 令和4年11月 立川市クリーンセンター試運転に伴い、ごみの受入終了
- ◆ 令和4年12月 滞留ごみを燃やし切り、稼働停止

P4

1 旧清掃工場の歴史

- 昭和54年当時のごみの搬入の様子
塵芥焼却場から「清掃工場」へと名称変更



P5

1 旧清掃工場の歴史

- 平成9年の3号炉増設

昭和54年式の1・2号炉（90 t / 日 × 2 基）に加え、3号炉（100 t / 日）が完成

処理能力

1・2号炉： 90 t / 日 × 2 基（180 t / 日）
3号炉： 100 t / 日 × 1 基（100 t / 日）
合 計： 3 基（280 t / 日）

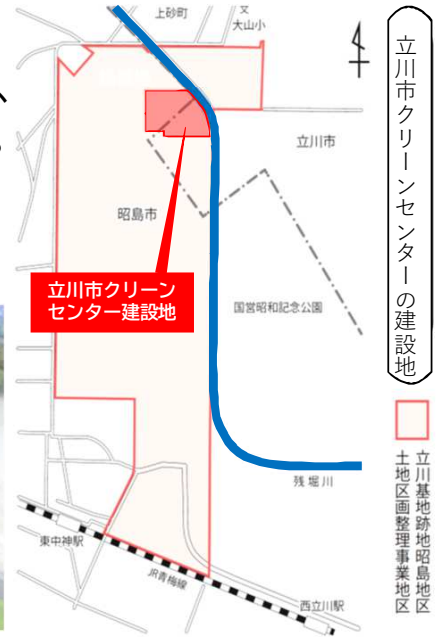


P6

2 清掃工場の移転

➤ 新清掃工場整備運営事業

「立川市クリーンセンターたちむにい」については、令和2年7月に工場棟などの建設工事に着手。試運転期間を経て、令和5年3月に本格稼働し、現在に至ります。



P7

3 解体工事の概要

立川市クリーンセンターたちむにいの供用開始に伴い令和4年度に稼働停止した旧清掃工場は、令和5年度以降に解体撤去工事を行います。

旧清掃工場は、第一種住居地域に立地。周囲に民家や公園、バス停等が隣接しているため、解体工事により発生する騒音や粉じんの飛散等を極力抑えるよう養生対策を適正に実施し、周辺環境への影響に十分配慮しながら施工します。

1. 工事場所	立川市若葉町四丁目11番地の19
2. 工事期間	令和5年度～令和9年度（予定）
3. 面積	(1) 敷地…9,554.44㎡ (2) 建築…4,968.67㎡ (3) 床…10,429.37㎡
4. 解体施設	(1) 工場棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造他、地下3階、地上4階 (2) 付属棟他 鉄筋コンクリート造、地上2階 (3) 煙突 外筒…鉄筋コンクリート造、内筒…鋼板製3本、高さ100m
5. 処理能力	280 t / 日（1・2号炉…90 t / 日×2基、3号炉…100 t / 日×1基）
6. 仮設工法	全覆い仮設テント方式
7. 予算額	総工事費：約51.6億円

P8

4 事業スケジュール

仮囲いや足場など仮設工事の後、付着物洗浄の除染工事を行い、設備、建屋、煙突、基礎の順で解体します。なおプラットホームと付属棟は先行解体を計画しています。また、工事期間中に環境調査（騒音・振動、ダイオキシン類等）を行います。

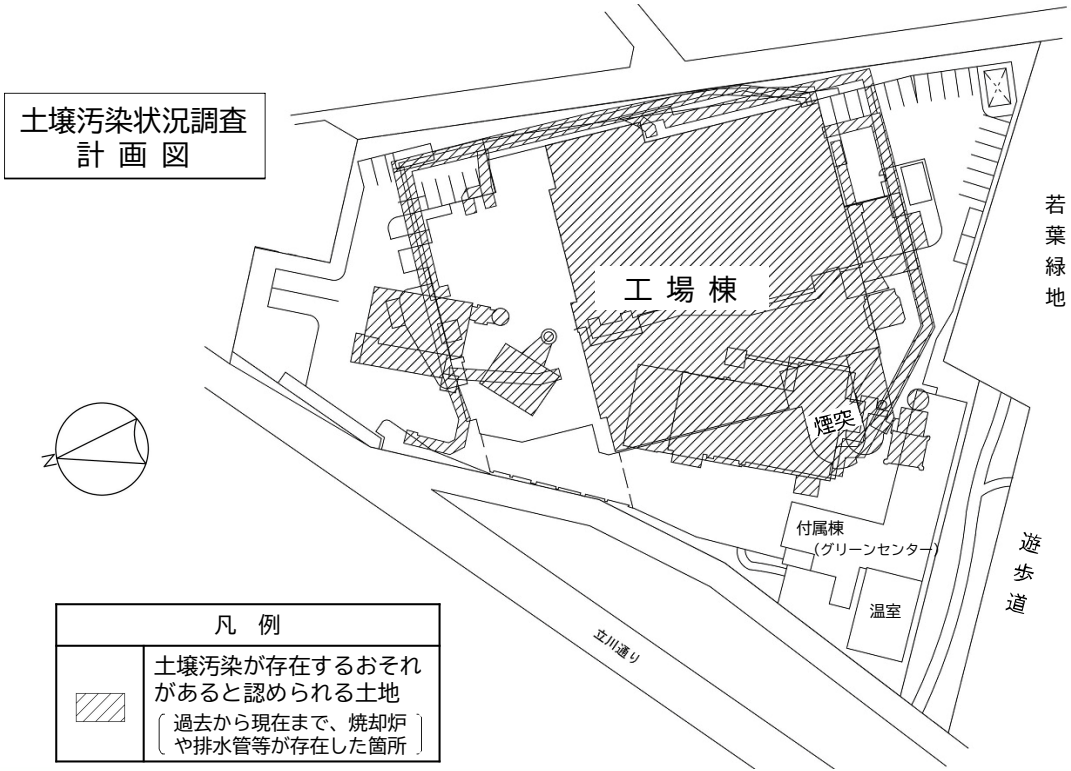
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
準備・共通仮設		■			
土壌汚染調査		■	■		
仮設工事（足場・養生等）		■			
仮設テント設置（予定）		■	■	■	
除染工事（有害物除去）		■	■	■	
機器解体工事			■	■	
建屋解体工事 （プラットホーム、付属棟）	先行解体 （プラットホーム、付属棟）	■	■		
煙突解体工事				■	
基礎解体工事				■	■
整地工事					■
環境調査（騒音・振動、ダイオキシン類等）		■	■	■	■

5 敷地平面図



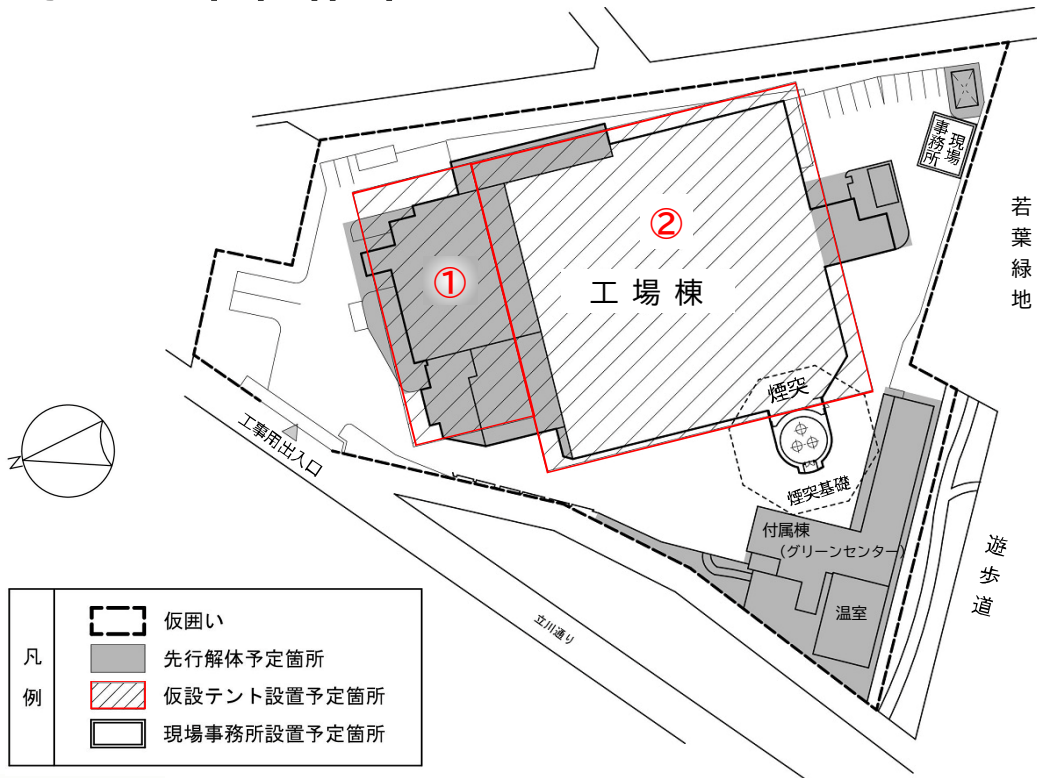
凡例	
— (Red line)	解体範囲
▨ (Hatched)	解体撤去等対象物

6 土壌汚染調査



P11


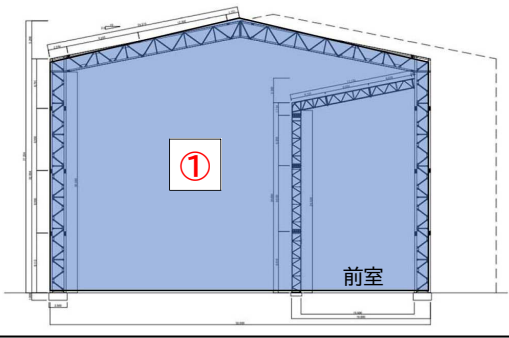
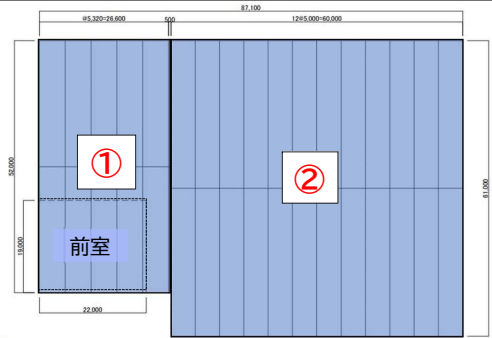
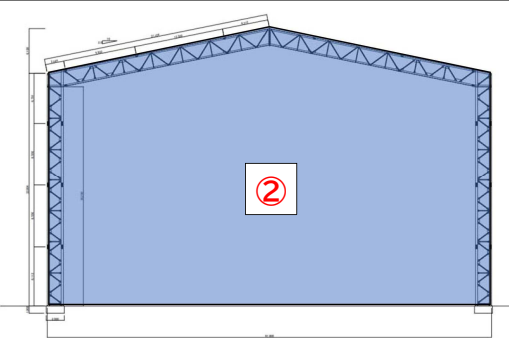
7 施工平面図 (イメージ)



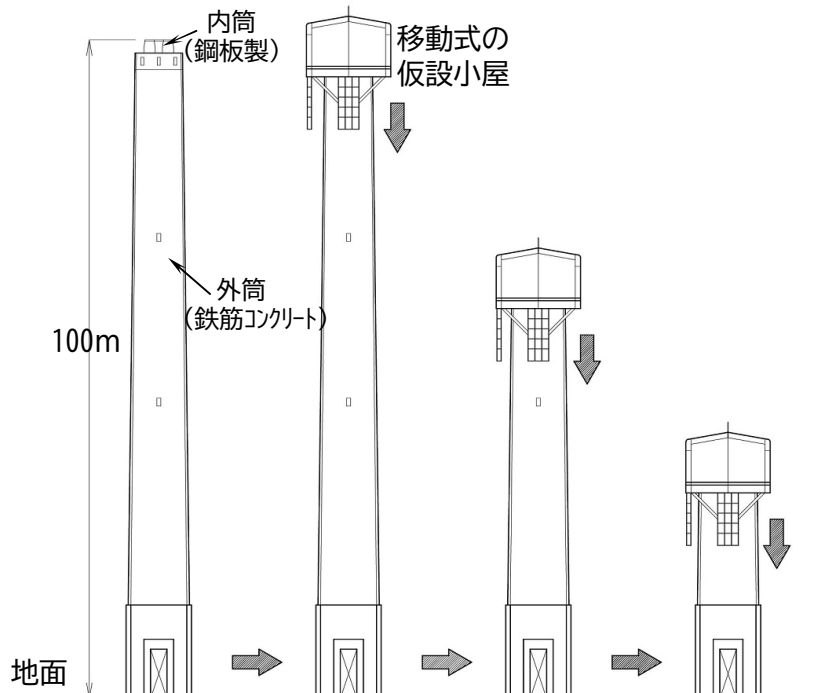
P12

8 仮設工法 (イメージ)

全覆い仮設テント方式 (施工イメージ写真・イメージ図)

施工イメージ写真	 <p>(出典) 社団法人 全国都市粉じん飛散防止協会HP</p>	仮設テント断面図 ①	
仮設テント屋根伏図		仮設テント断面図 ②	

9 煙突解体 (イメージ)



内筒 (鋼板製)

外筒 (鉄筋コンクリート)

100m

移動式の仮設小屋

天井クレーン

ワイヤーソー

密閉された作業室内

外筒の解体作業

ワイヤーソーを使用し室内で短冊状に切断後天井クレーンで煙突の内部から降ろします

10 周辺環境対策

(1) 騒音・振動対策

低騒音型重機の採用、工事車両台数の低減、走行速度制限

(2) ダイオキシン類・アスベスト等汚染物質の飛散対策

- ① 全覆い仮設テント内において養生シートで作業場所を覆い密閉化
- ② 管理区域内を負圧状態にして室内空気の漏洩を防止（常に外気流入状態）
- ③ クリーンルーム設置により人の出入りによる汚染物の拡散を抑止

(3) 汚染水の流出防止対策

仮設排水処理設備で環境基準値以下まで処理して循環再利用。場外には無放流

(4) 粉じん飛散防止対策

コンクリート等解体時の粉じんの飛散を散水により抑制。全覆い仮設テント方式の採用により、荒天時以外は作業の続行が可

(5) 悪臭拡散防止対策

全覆い仮設テントで覆うことで、ごみピット等のガラに付着した悪臭の拡散を防止

P15

11 環境モニタリング

(1) 粉じんの連続測定

仮設テント内部の空気を浄化する集じん換気装置の排気口付近にデジタル式粉じん測定器を設置し、連続測定

(2) 管理区域内圧力監視

管理区域に圧力計を設置し、室内の負圧状態を常時監視

(3) 騒音・振動連続測定

工事現場入口に騒音・振動計を設置し、連続測定結果を表示

(4) 大気中ダイオキシン類測定

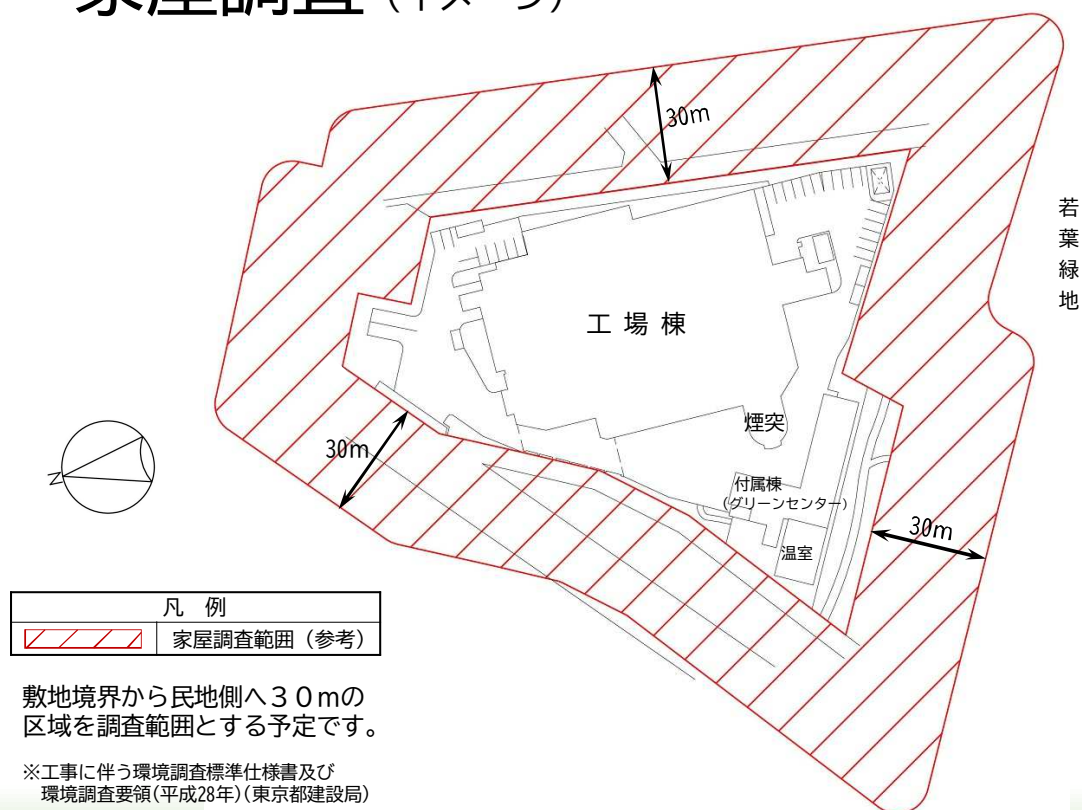
敷地境界における大気中のダイオキシン類を工事前・中・後で測定し、周辺環境への影響を調査

(5) 土壌中ダイオキシン類測定

敷地内の土壌に含まれるダイオキシン類を工事前・中・後で測定し、周辺環境への影響を調査

P16

12 家屋調査 (イメージ)



P17

13 今年度の予定

- ・ 令和5年8月 施工者選定等手続き
- ・ 令和5年11月 工事請負契約締結
- ・ 令和5年12月末 グリーンセンター利用終了
- ・ 令和6年1～2月 旧清掃工場解体工事説明会
- ・ 令和6年1月 土壌・有害物質等調査開始
- ・ 令和6年2月以降 解体工事着手

P18

おわりに

本日ご説明させていただいた内容は本市が考えている解体事業の概要になります。

実際に現場で行う施工方法等は、施工者決定後に開催予定の「工事説明会」において、改めてご案内させていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。

P19

(お問い合わせ先)

立川市環境下水道部

クリーンセンター

旧清掃工場担当課

電話：042-536-2921

ファクシミリ：042-535-3252

Eメール：seisoujimusho@city.tachikawa.lg.jp



P20